岐阜県民主医療機関連合会（岐阜民医連）全医師集会の報告

県連医師委員長　松井　一樹

安心して暮らせるまちづくりに、ともに取り組みます

岐阜民医連医師が一同に会する全医師集会は、故笹谷唯美先生（初代みどり病院長）がご健在の頃に始まり、かれこれ35年、毎年開催されております。

今年度の全医師集会のテーマは、『民医連のまちづくり～地域と医局、広く手厚く繋げよう!!』とし、2026年2月8日（日）に開催しました。医師、県連事業所責任者、岐阜健康友の会の方が集い、学習とグループワークを行いました。友の会の大塚会長には、その歴史から現在まで、活動や課題をご報告いただきました。

講師に、岐阜県北西部地域医療センター　後藤忠雄医師をお招きし、『地域医療の課題、地域に寄り添う、分析～研究まで』のテーマで語っていただきました。県中央～北部の大幅な人口減の中で、行政とともに、医療・介護をどう進め、どのように地域の方々とつながっていくのか、そのために、地域をどう分析し、研究しているのか、盛り沢山な内容で報告していただきました。

今、地域の高齢化に伴い、自治会そのものの運営も難しくなっています。何か催しをするにしても、「参加はいいが、企画や世話人をするのは難しい」現実があります。そんな中で、今までの班会中心の活動に加え、地域の「ゆる～い」つながりも、提案されています。

今、医局では、「○○先生」と呼ばれる班会等の講師だけでなく、「○○さん」と呼ばれるゆる～い関係を地域の方々と築いていく方法を模索しています。より地域を知るために、地域分析を行いつつ、みなさんとの交流を通して、安心して暮らせるまちづくりに、ともに取り組みます。

地域と職員と共に地域の健康を守りましょう！

藍川支部「フットケア班会」

1月29日（木）みどり病院透析センター看護師を講師にフットケア班会を開催し、7名の参加でした。「皮膚を傷つけないように爪の手入れはヤスリが良いです。」とアイスキャンディーの棒の先に紙やすりを貼った手作りの物を一人ずつ頂きました。

手作りの爪ヤスリは実際に透析患者さんのケアで使っている（使い捨て）物だそうです。高齢化で体が硬くなると足の指・爪を自分で手入れしづらくなりますね。

講師の看護師さんに実際に1人ずつ、片足の爪・踵の状態をチェックしてもらい、爪が切りっぱなしで尖っている部分などにヤスリをかけてもらいました。日々、家でもフットケアが出来るようにみなさんしっかり習っていました。

大塚　和子

芥見南支部「骨密度測定」

2月18日、芥見南支部では、みどり病院放射線技師を講師に「骨密度測定」の健康班会を19名で開催しました。90歳代の方が2名参加したのですが、本当に元気いっぱいで、一人の方は「今日ここで教えてもらった事は必ず実行し、継続すること。これが元気の源です。」と！

もう一人の方は、元獣医さんで、「卵はタンパク質は豊富だけど、カルシウムはありません。カルシウムを取りたかったら、殻を粉にして飲むかなぁ～。白身や黄身を包む薄皮は、お肌の若返りに良いから一度お試しを」と提言してくれました。

この90歳代のお二人に刺激され、80歳代以下の方達は圧倒されっぱなしでした。骨密度の結果は参加者ほぼ全員が問題なく、むしろ上々ばかりでした。

仲井　順子

東海北陸第8回 共同組織活動交流集会 IN 岐阜の開催を終えて

現地実行委員会委員長　　髙田 一朗

友の会（共同組織）の活動を交流しようと「東海北陸第8回共同組織活動交流集会IN岐阜」を3月29日～30日に岐阜市で開催しました。東海北陸の7県から131名が参加しました。

2007年に第1回を開催しましたが、コロナ禍で中断。今年ようやく再開しました。

開催テーマは、「このまちで　生きる、つながる、元気になる」です。このテーマにふさわしい各地の活動経験を楽しく、学ぶことができました。

一日目は、特別報告として「能登半島地震・豪雨災害の中での共同組織の取り組みの経験」（石川県健康友の会奥能登ブロック）をお聞きしました。元旦の地震から2年以上が経過していても復興が進んでいないなかで、友の会と診療所、民医連からの支援者が継続して被災者支援の取り組みを行ってきた話をお伺いして、皆さん、胸に迫る思いを感じられたようです。特別報告の後は、11の分散会に分かれてじっくり交流しました。

二日目は、岐阜新聞社会部記者の山田俊介氏に「ホームレスはどこへ行った」と題した講演をお願いしました。

岐阜新聞に2年にわたって連載した内容をまとめていただき、生活保護行政をめぐる様々な出来事をお聞きしました。

そのあとは、各県の活動報告をそれぞれお願いし、班会でのメニュー、ボッチャ、モルック、スクエアステップなどの取り組みと会員拡大などの報告を聞き、ヒントをたくさんいただきました。

健康友の会は、地域で会員と地域住民の皆さんとともに、健康を守る取り組みを続けてきました。今回の交流集会で学んだことを今後の活動に生かしていきます。